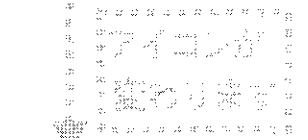
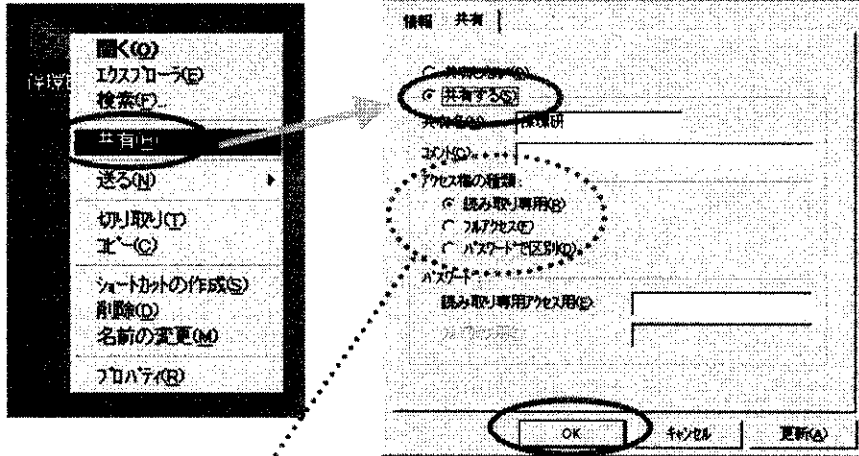


② 作ったフォルダを共有しましょう

作ったフォルダの上で、右クリックすると、下図のようなメニューが出ますので、『共有(H)』を選んで下さい。そして、右下図のように、『共有する(S)』をチェックして、『OK』を押して下さい。これでフォルダは共有されました。

※ 共有をやめるときは、『共有しない(O)』をチェックしてください

フォルダ上で右クリック

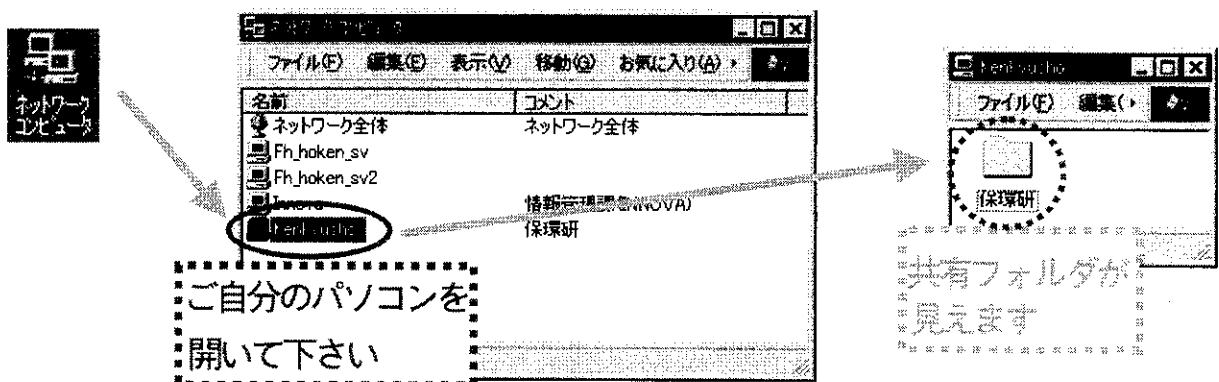


※「アクセス権の種類」について

- ・読み取り専用…………… ファイルの読み取りだけで、更新はできません
- ・フルアクセス…………… ファイルの更新もできます。
- ・パスワードで区別…… 「パスワード」に設定にしたがって、読み取り専用とフルアクセスを区別します。

③ 共有したフォルダを確認します

デスクトップの『ネットワークコンピュータ』をダブルクリックして下さい。そして、ご自分のパソコンをダブルクリックで開いて下さい。すると、共有したフォルダを確認することができます。

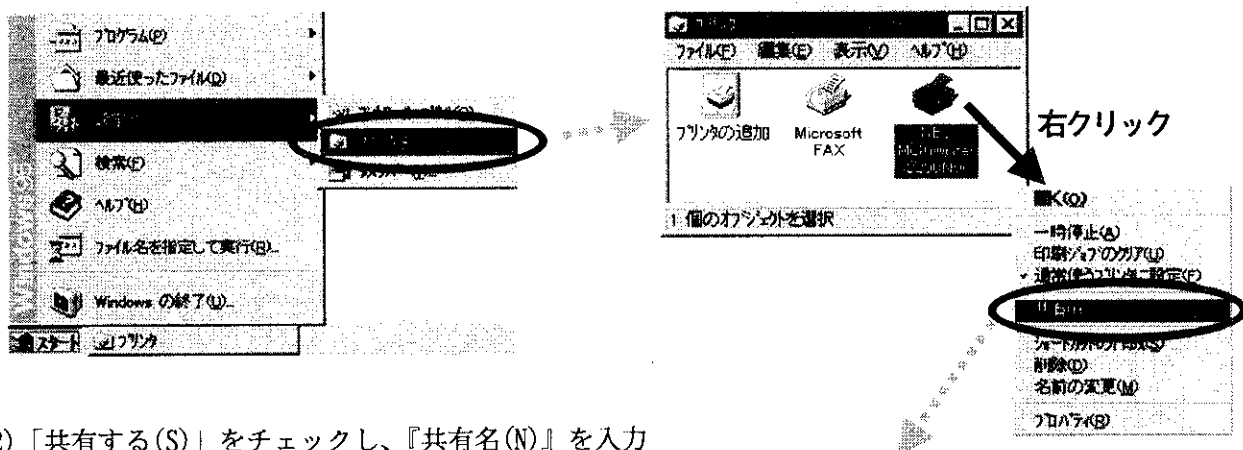


1. 3. プリンタを共有しましょう

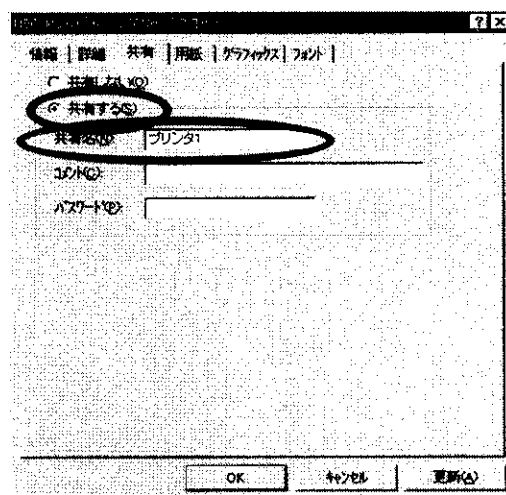
— パソコンにつなげているプリンタを他から使えるようにします。

① 自分のプリンタを共有します

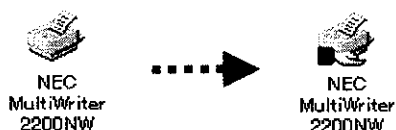
(1) 『スタートメニュー』→『設定』→『プリンタ』を選びます。すると、現在、そのパソコンで使用可能なプリンタの一覧が出ますので、共有したいプリンタの上で右クリックし、「共有(H)」を選びます。



(2) 「共有する(S)」をチェックし、『共有名(N)』を入力します。この名前は他のマシンから見たプリンタの名前になります。ここでは、「プリンタ1」としています。

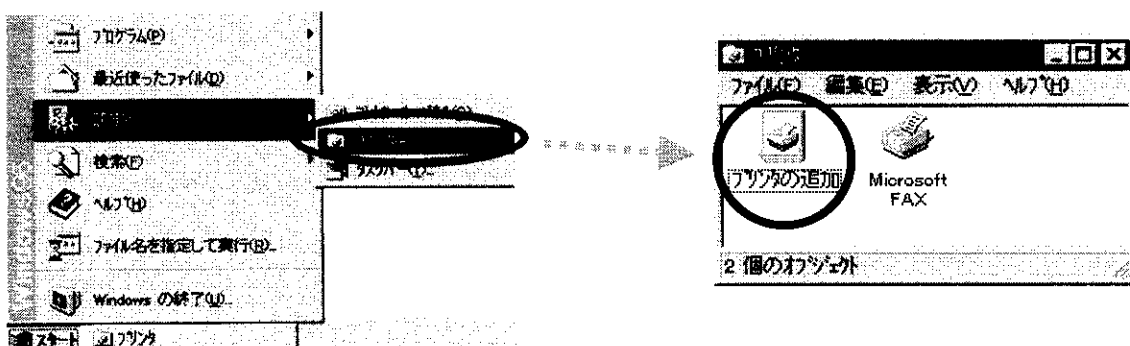


(3) プリンタの共有がうまくいくと、プリンタのアイコンが、以下のように変わっているはずです。確認して下さい。

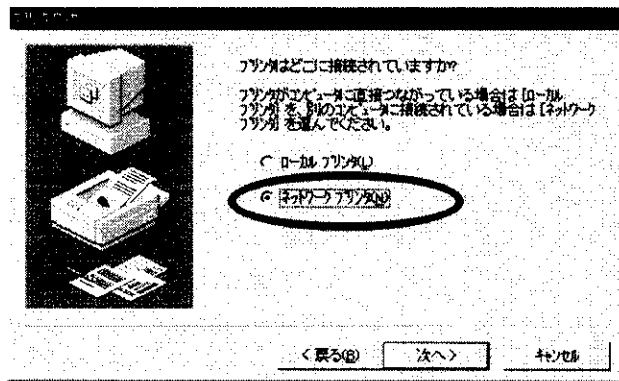


② 共有されているプリンタを使えるようにします

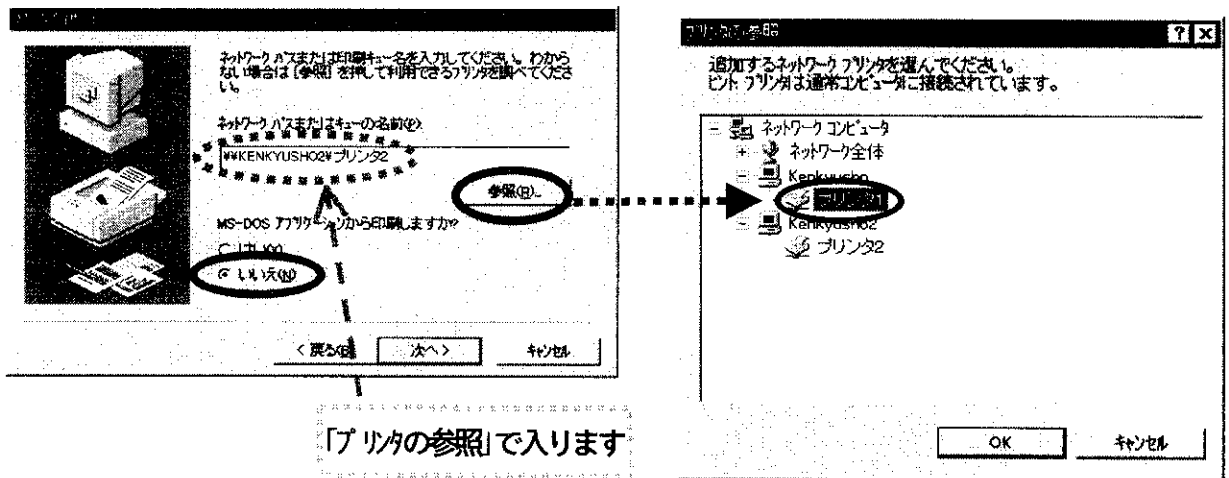
(1) 『スタートメニュー』→『設定』→『プリンタ』を選びます。プリンタの一覧が出ますので、「プリンタの追加」をダブルクリックしてください。



(2) プリントウィザードが立ち上がります。「ネットワーク プリント」を選んで、次へ進んで下さい。

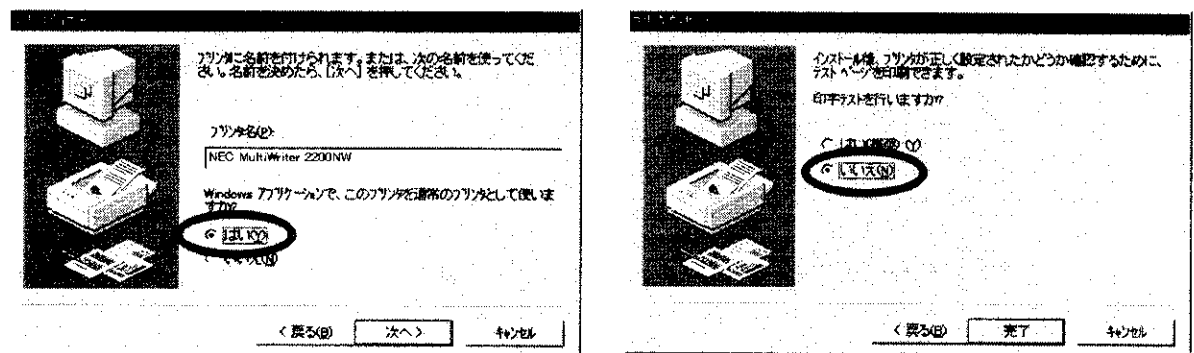


(3) 下のように各々設定して、次へ進んでください。『ネットワーク パスまたはキューの名前』は『プリンタの参照』で選んで下さい。プリンタは、接続されているパソコンの中から選んで下さい。(ここでは『kenkyusho』の『プリンタ 1』を選んでいます)

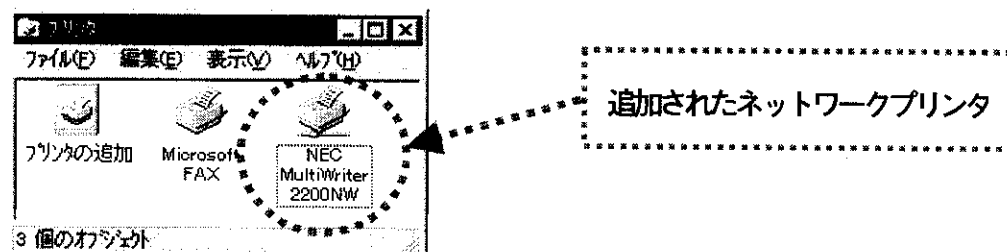


(4) 『プリンタ名』はそのままでいい(変えてもよい)、そして、『通常のプリンタとして使いますか?』を「はい」にしてください。次の『印字テスト』は「いいえ」を選んでください。

(※ 途中でプリンタドライバのフロッピーディスクを要求されたときは入れてください。)



(5) 以上の設定をすると、プリンタのインストールが行われます。インストール後、下図のようにネットワークプリンタが追加されます。以後は印字が可能になります。



2. ブラウザで Web ページを見てみましょう

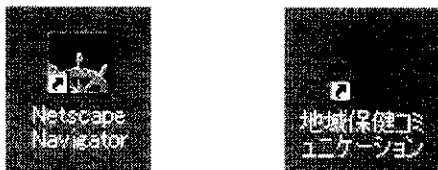
- － WISH-WWW やインターネットの Web ページ（ホームページ）を NETSCAPE で見てみます

2. 1. NETSCAPE を起動しましょう

- － LAN に接続している場合とモデムで接続する場合は、少し方法が違います。

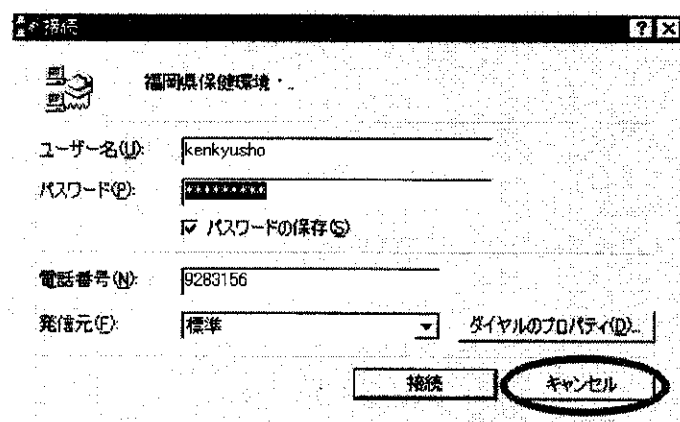
○ LAN に接続している場合

- (1) デスクトップの『Netscape Navigator』または『地域保健コミュニケーション』のアイコンをダブルクリックしてください。

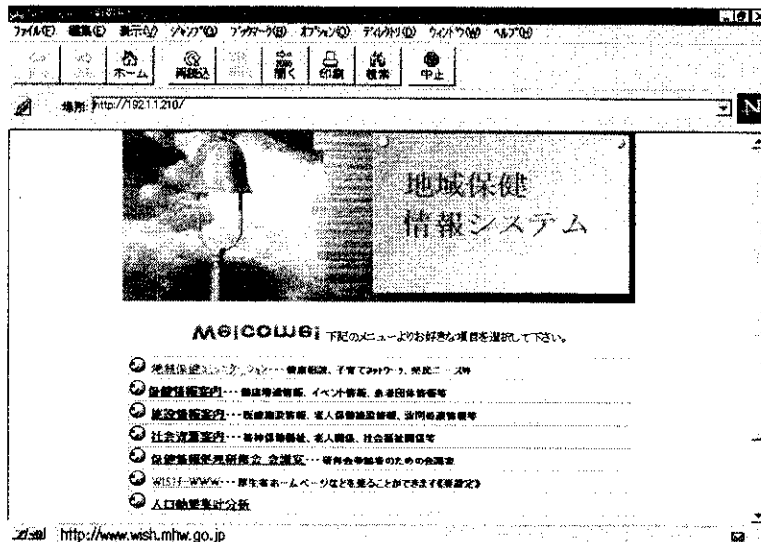


- (2) モデム接続のウィンドウが出ますが、『キャンセル』を選びます。

※ ホームページを見るとときに、自動的にモデム接続をする設定がされているため、このウィンドウが出ます。



- (3) 「地域保健情報システム」のページが出れば、OKです。

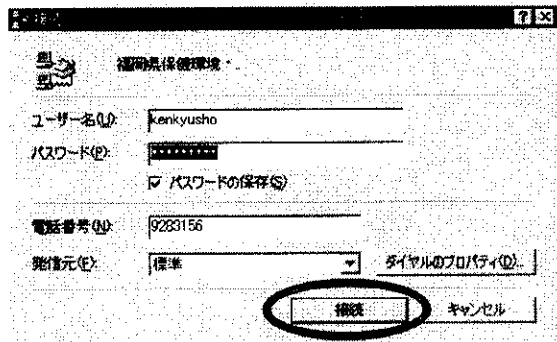


○ モデムで接続する場合（保健所で使う場合）

(1) デスクトップの『Netscape Navigator』または『地域保健コミュニケーション』のアイコンをダブルクリックしてください。



(2) モデム接続のウィンドウが出ますので、『接続』を選びます。

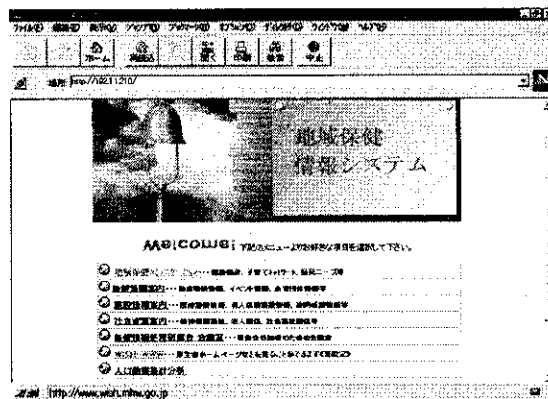


※ モデムの接続に失敗したときは、電話番号を「092-928-3156」→「092-928-3157」に変えてみてください。うまくいく場合があります。

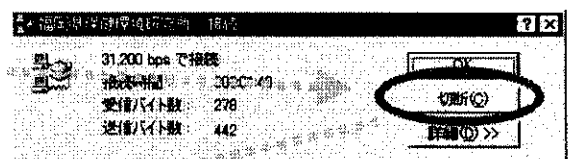
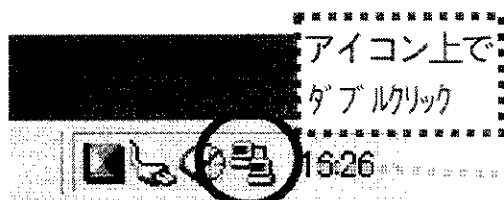
(3) サーバとの接続が完了すると「ダイヤル中」のウィンドウが消えて、タスクバーの右隅（画面の右隅）に接続中のアイコンが出ます。



(4) 「地域保健情報システム」のページが出れば、OKです。



【重要】終了するときには、必ず回線を切断してください



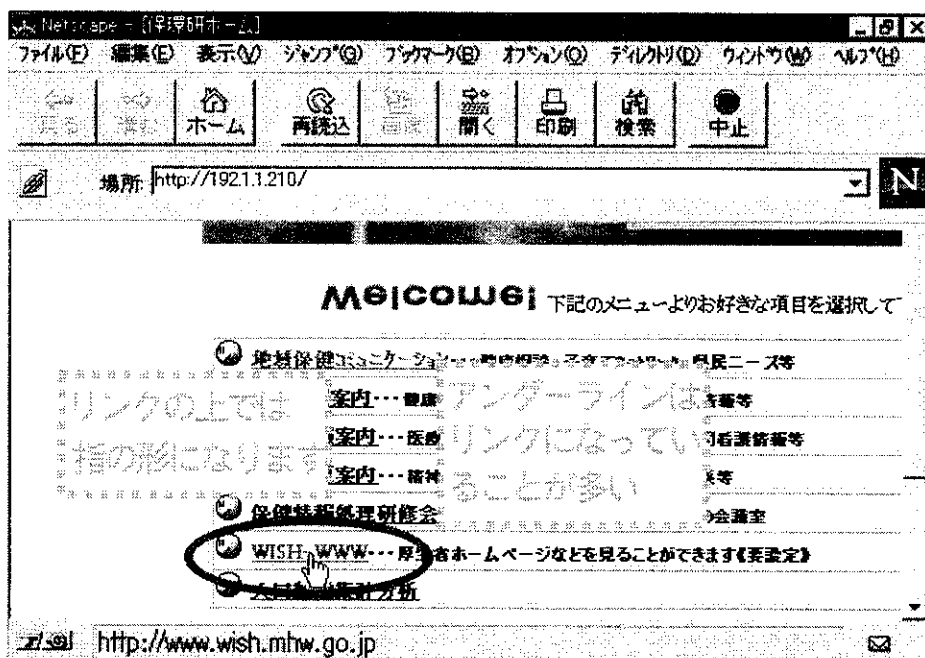
アイコンが消えれば、切断完了

2. 2. Web ページの表示方法

ー 実際に WISH-WWW や福岡県のホームページを見てみましょう

▼ リンクをクリックする

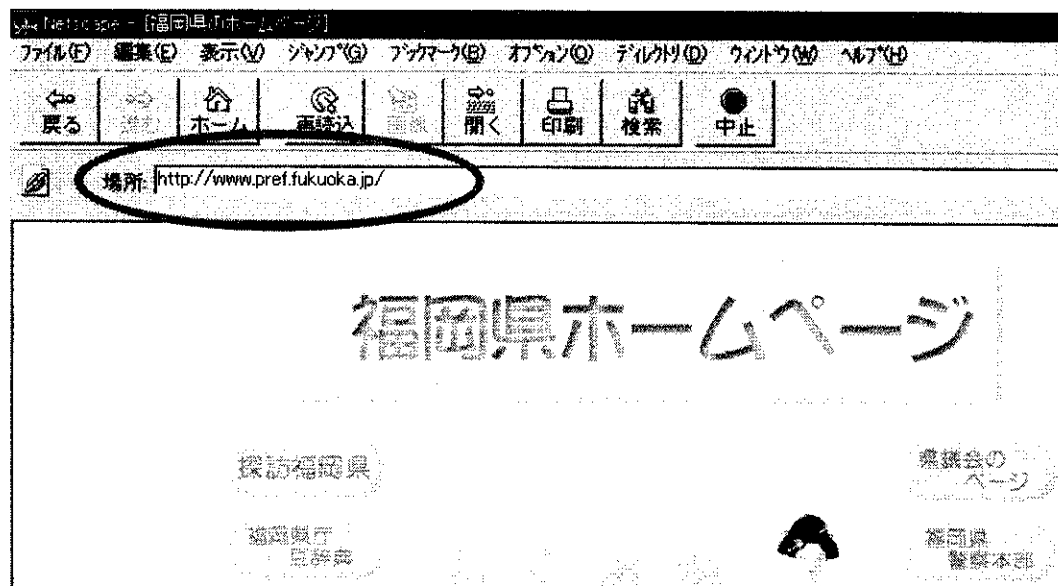
色あるいは下線で強調表示されている単語やアイコンをクリックすると、画面上の情報に関連した別のページを呼び出すことができます。これらのことを リンク と言います。リンクの上ではマウスポインタが指の形になります。



▼ Web ページのアドレスを入力する

リンクで見ることができないときには、直接、Web ページアドレスを入力します。NETSCAPE の『場所:』にアドレスを入力して、リターンキーを押すと、そのページが表示されます。

福岡県ホームページ …… <http://www.pref.fukuoka.jp>



▼ ツールバーの使い方

画面の上部、メニューの下にあるツールバーを使って、前のページに戻ったり、ホーム（地域保健情報システムのページ）へ戻ることができます。



『戻る』…… 1つ前のページへ戻ります

『進む』…… ページに戻ったときに、次のページを表示します。（戻っていない場合は押せません）

『ホーム』…… 起動したときのホームページ（地域保健情報システムのページ）へ戻ります。

『再読込』…… 表示しているページを再度読み込んで表示します。

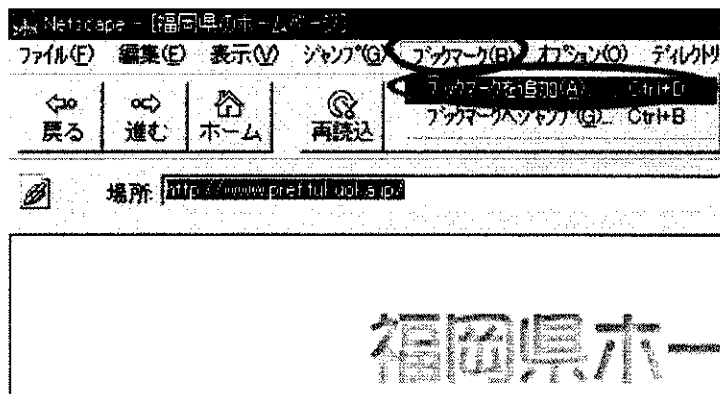
『中止』…… ページの読み込みを中止します。

2. 3. ブックマークを使いましょう

- Web ページアドレスを毎回入力するのは面倒です。よく見るページはブックマーク (bookmark : しおり) として登録しましょう

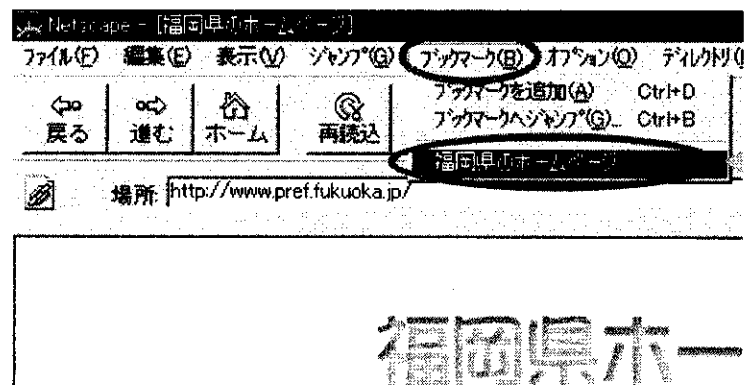
▼ ページを登録する

登録したいページを表示させた状態で、「ブックマーク(B)」メニューの『ブックマークを追加(A)』を選んでください。次から、「ブックマーク(B)」メニューにページが追加されます。



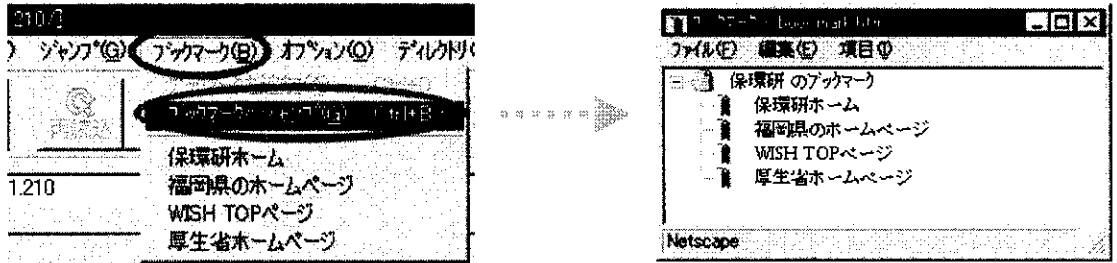
▼ 登録したページを表示する

「ブックマーク(B)」メニューにページが追加されていますので、表示したいページを選んでください。

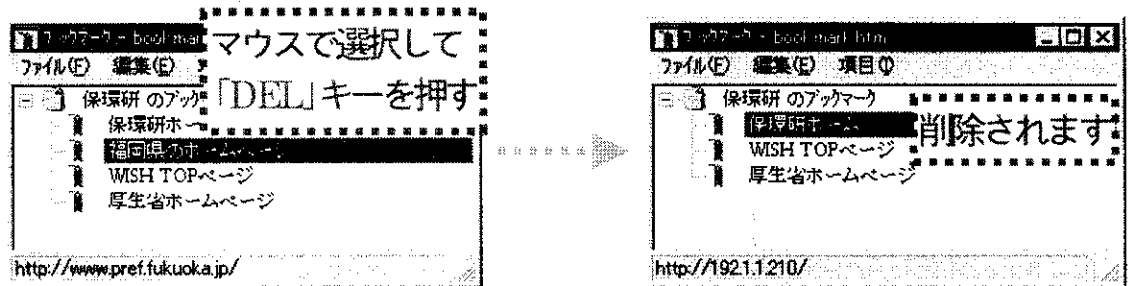


▼ ブックマークを整理する

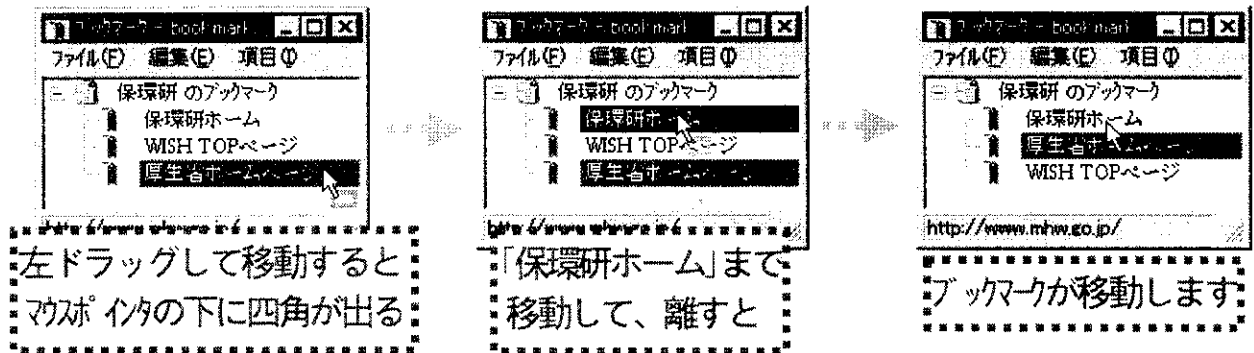
ブックマークは削除したり、ファイルに保存、インポート（読み込み）ができます。「ブックマーク(B)」メニューの『ブックマークジャンプ(G)』を選んでください。ブックマークの編集画面が出ます。



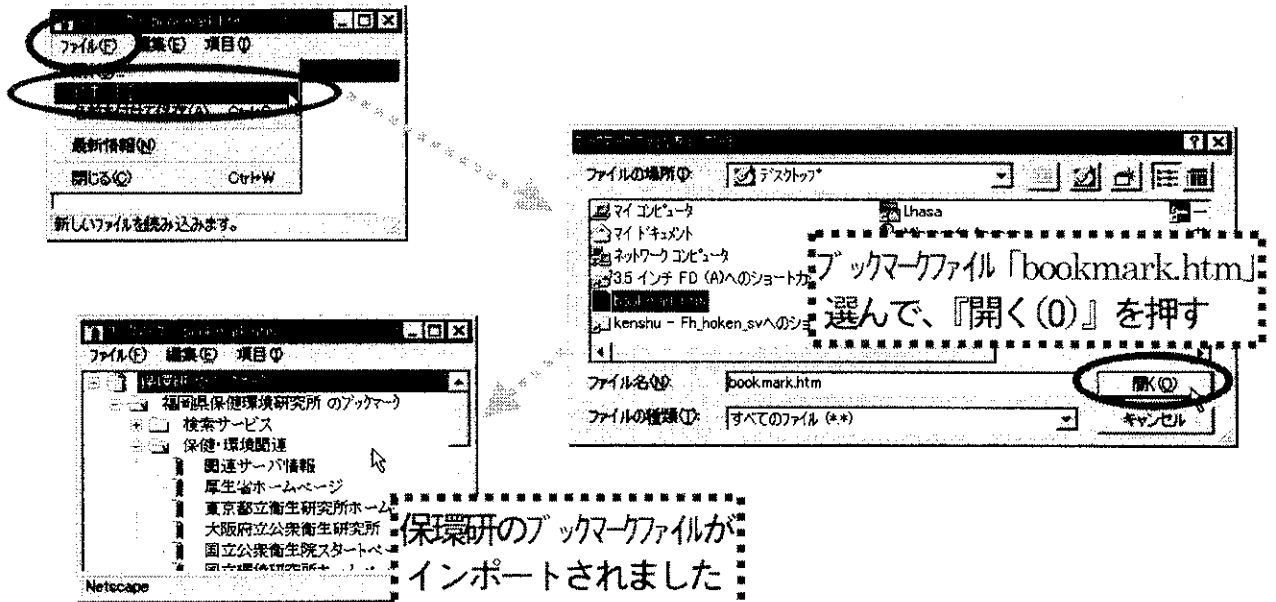
削除したい項目を選んで、『DEL』キー（削除キー）を押すと、登録されたページが削除されます。



項目を『左ドラッグ』して移動すると、順番を変えることができます。



『ファイル(F)』メニューの『インポート(I)』で、他のブックマークファイルをインポートできます。



3. 電子メールを使いましょう

- 地域保健情報システムの電子メールは外部の人（インターネット）へは出せませんが、保健所、県庁、保環研間でメールをやり取りできます。

3. 1. メールを読んでみましょう

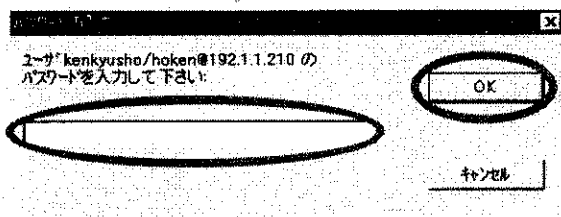
- メールソフトウェアは NETSCAPE に付属されている NETSCAPE メールを使います。

3. 1. 1. NETSCAPE メール の 起 動

NETSCAPE を起動して、「ウィンドウ(W)」メニューの『Netscape メール(M)』を選ぶか、画面右隅のメールアイコンをクリックします。すると、最新のメールが受信され、NETSCAPE メールが立ち上がります。

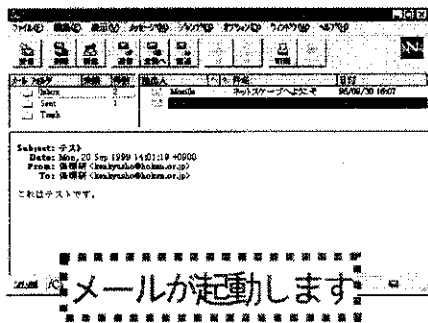


どちらかを
クリック



パスワードを要求された場合は入力

※パスワードが正しくないときは新しいメールが読み込まれません

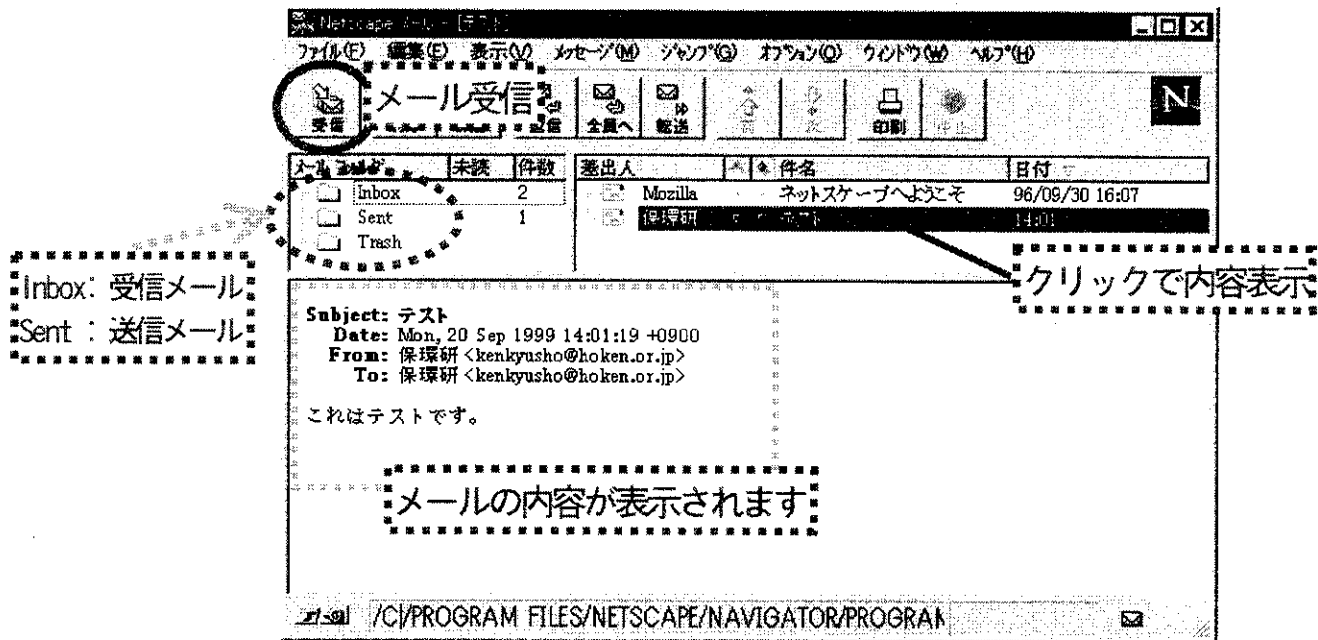


保健所	メールのユーザ名	パスワード	メールアドレス
筑紫	tikusi/hoken	tikusi	tikusi@hoken.or.jp
粕屋	kasuya/hoken	kasuya	kasuya@hoken.or.jp
宗像	munakata/hoken	munakata	munakata@hoken.or.jp
朝倉	asakura/hoken	asakura	asakura@hoken.or.jp
糸島	itosima/hoken	itosima	itosima@hoken.or.jp
遠賀	onga/hoken	onga00	onga@hoken.or.jp
鞍手	kurate/hoken	kurate	kurate@hoken.or.jp
嘉穂	kaho/hoken	kaho00	kaho@hoken.or.jp
田川	tagawa/hoken	tagawa	tagawa@hoken.or.jp
久留米	kurume/hoken	kurume	kurume@hoken.or.jp
浮羽	ukiha/hoken	ukiha00	ukiha@hoken.or.jp
三猪	mizuma/hoken	mizuma	mizuma@hoken.or.jp
八女	yame/hoken	yame00	yame@hoken.or.jp
山門	yamato/hoken	yamato	yamato@hoken.or.jp
京築	keitiku/hoken	keitiku	keitiku@hoken.or.jp
築上	tikujo/hoken	tikujo	tikujo@hoken.or.jp
県庁企画課	kencho/hoken	kencho	kencho@hoken.or.jp
保環研	kenkyusho/hoken		kenkyusho@hoken.or.jp
全保健所			all-hc@hoken.or.jp

※"00"は数字

3. 1. 2. メールの受信と読み方

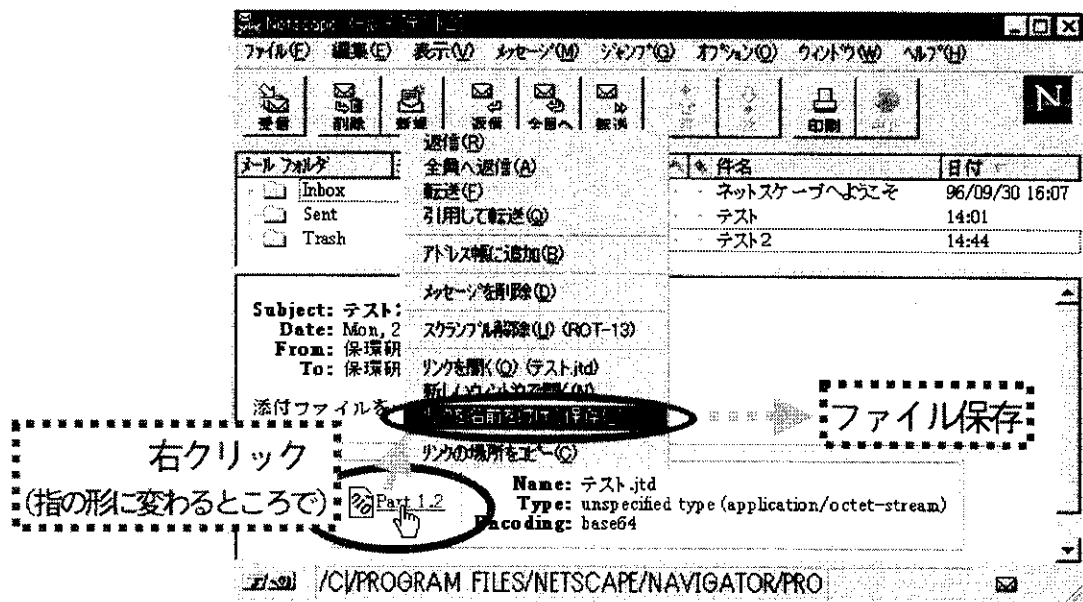
- ・読みたいメールのタイトルをクリックすると、そのメールの内容が下のフレームに表示されます。
- ・メールフォルダの「Inbox」には受信したメールが格納されています。また、「Sent」には送信済みのメールが保存されています。
- ・「ファイル(F)」メニューの『新しいメールの受信(G)』を選択するか、『受信』アイコンをクリックすると、最新のメールを受信します。



3. 1. 3. 添付ファイルを取り出す

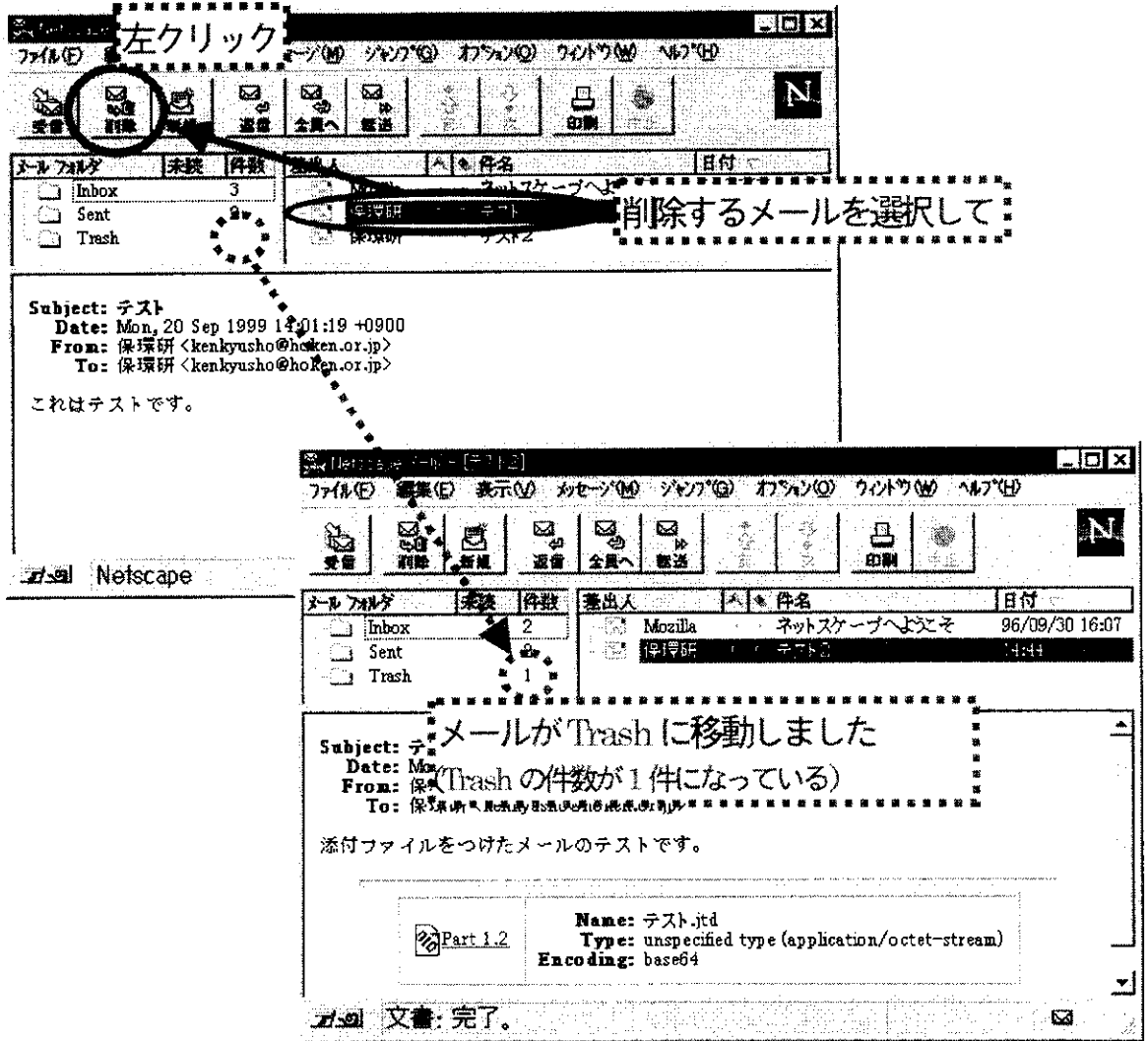
一太郎やエクセルのファイルを添付して、相手にメールすることができます。添付ファイルのあるメールからファイルを取り出すには、次の手順で行ってください。

- (1) メール本文下の添付ファイルを表すフレームに「アンダーライン付のリンク」(マウスポインタが指に変わる)がありますので、マウスポインタを移動してください。
- (2) 『右クリック』でメニューを出し、『リンクを名前を付けて保存(S)』を選んでください。
- (3) 適当な場所とファイル名を指定して、保存してください。

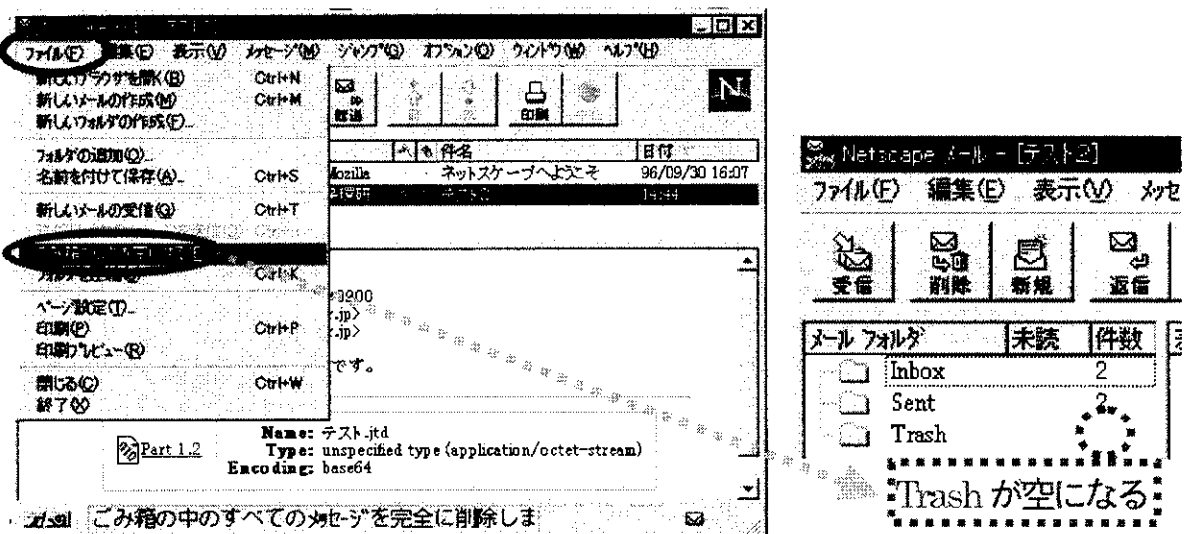


3. 1. 4. 不要になったメールを削除する

不要になったメールをごみ箱 (Trash) に移動するには、メールを選択した後、『DEL』キーを押すか、『削除』アイコンをクリックしてください。



この場合、Trashに移動しただけで、完全に削除された訳ではありません。完全にメールを削除するには、『ファイル(F)』メニューの『ごみ箱フォルダを空にする(E)』を実行してください。



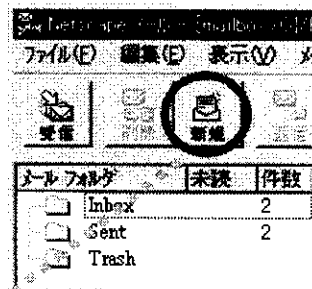
3. 2. メールを送りましょう

— メールの送り方、添付ファイルの送り方、返信メールの出し方を説明します

3. 2. 1. メールの送信

メール画面で「ファイル(F)」メニューの『新しいメールの作成(M)』を選択するか、『新規』ボタンをクリックしてください。すると、「メッセージの作成」の画面が出ます。

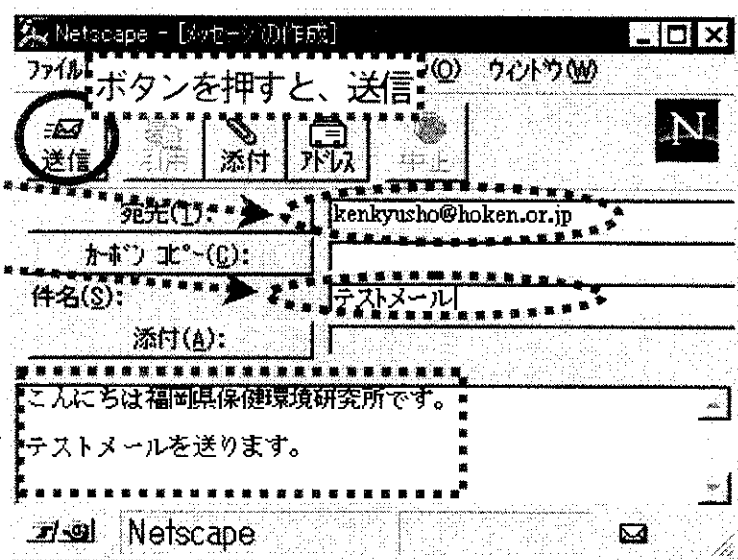
メールには、宛先、件名、本文を入力してください。メールを送信するには、「ファイル(F)」メニューの『今すぐ送信(S)』を選ぶか、『送信』ボタンを押してください。



『宛先』……送信先のメールアドレスを入力します。ここでは「XXXXX@hoken.or.jp」形式です。

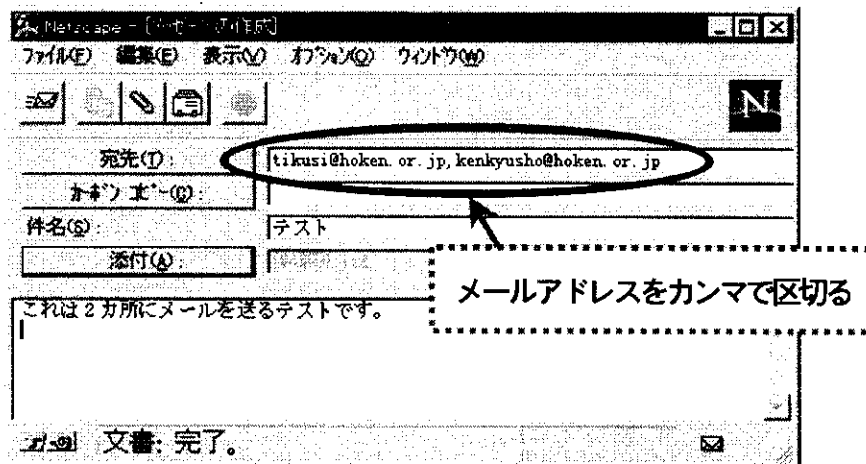
『件名』……メールの内容を示す簡潔なタイトルを入力します。

『本文』……メールの本文を入力してください。



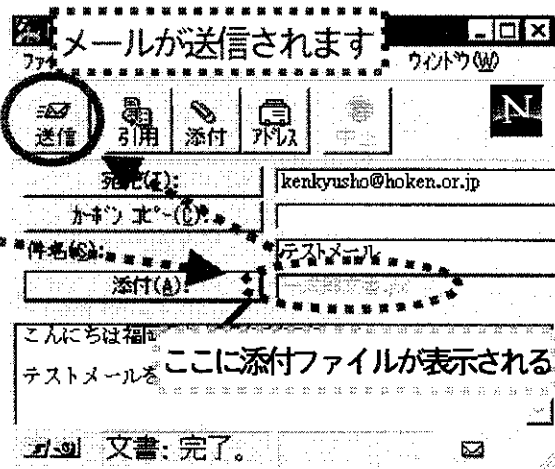
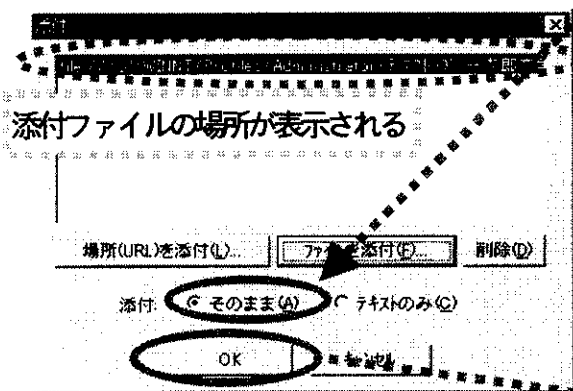
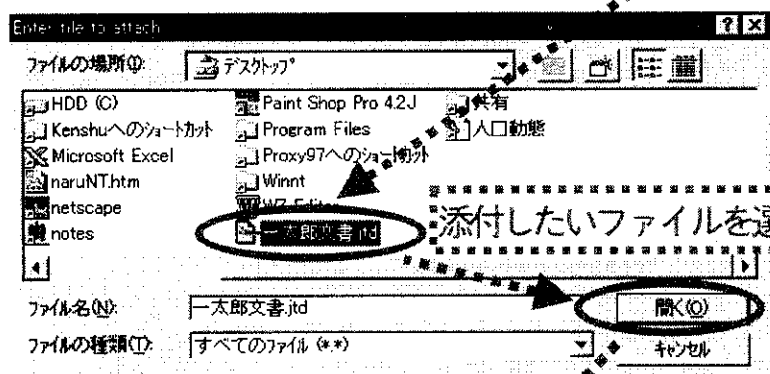
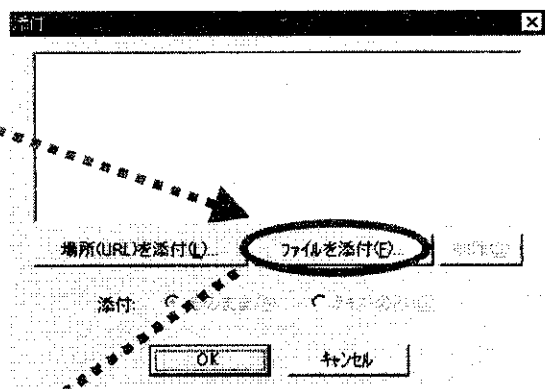
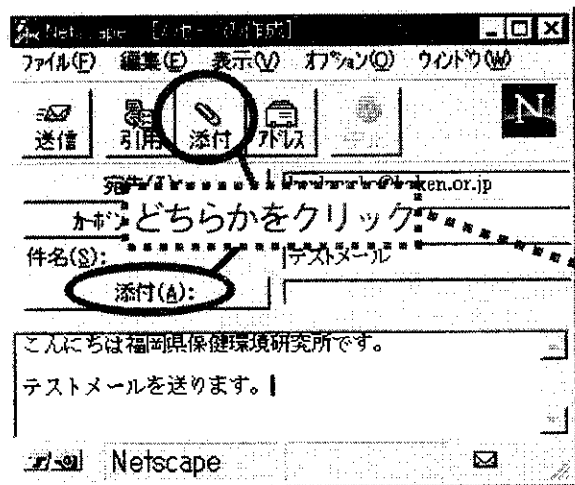
3. 2. 2. 二カ所同時に送信する

宛先を「tikusi@hoken.or.jp, kenkyusho@hoken.or.jp」のように、カンマ(,)で区切って、入力します。3カ所以上も同様にカンマで区切って入力します。



3. 2. 3. 添付ファイルの送信

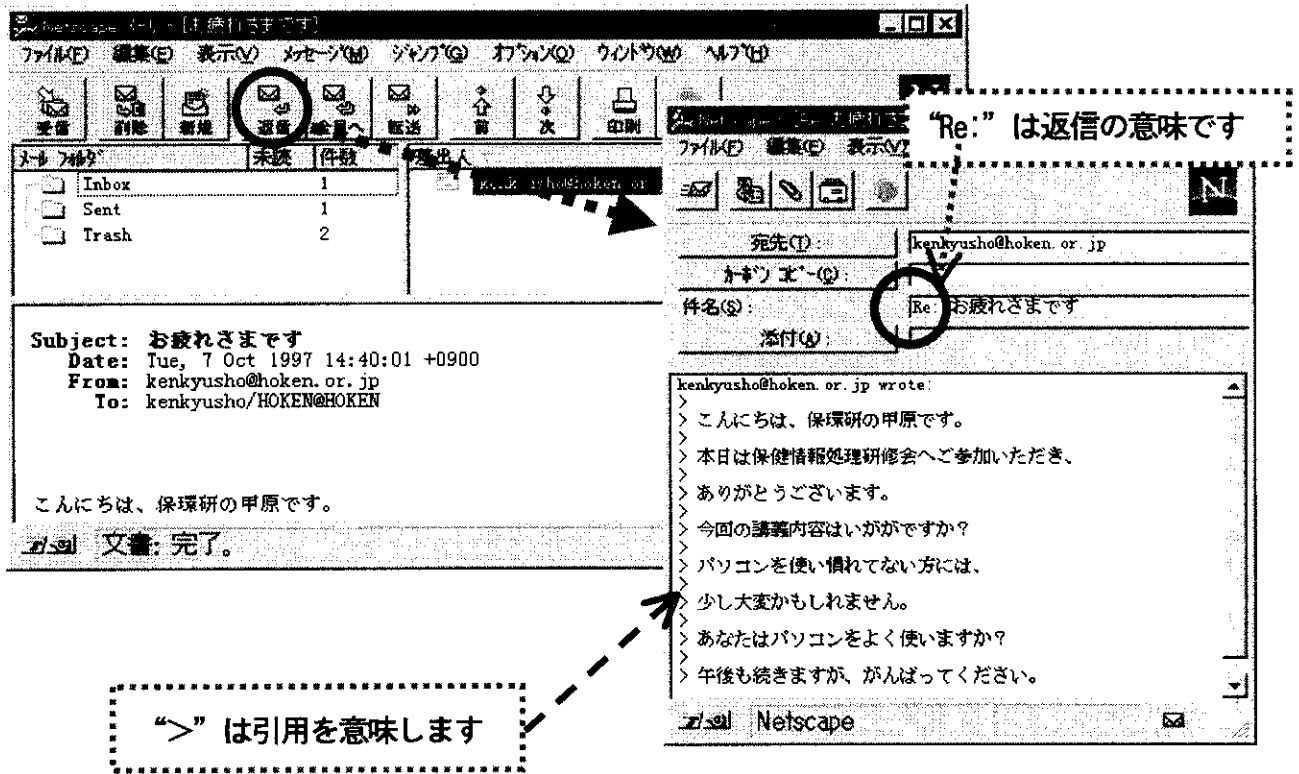
「メッセージの作成」で、宛先、件名、本文を入力したら、「ファイル(F)」メニューの『ファイルを添付(F)』を選ぶか、『添付』ボタンを押します。すると添付のウィンドウが出ますので、添付したいファイルを選んでください。同じ操作をすれば、複数個のファイルも添付できます。



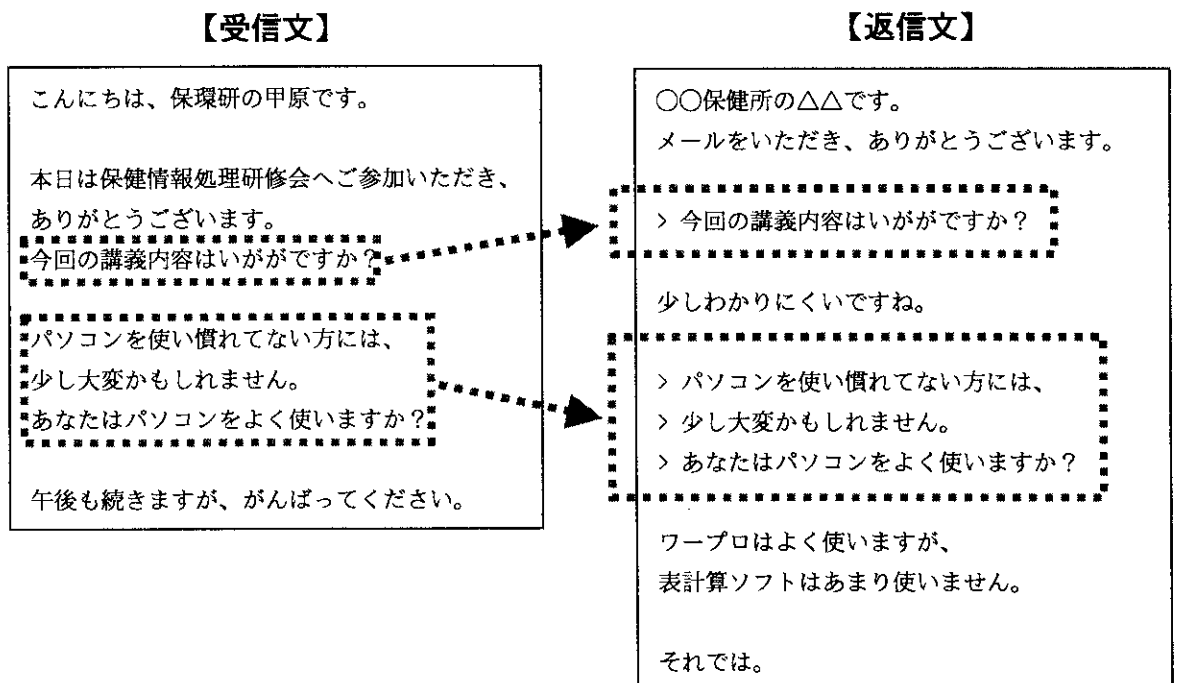
3. 2. 4. 返信メールの出し方

『返信』ボタンを押すと、右下のウィンドウが出ます。

- ・『宛先』は送り主のメールアドレスに設定されています。
- ・『件名』は、元の件名に、“Re:”が付いたものが入ります。“Re:”は、Replyの事です。
- ・『本文』には、先頭に、“>”がついた原文があらかじめ入れられています。これを編集して返信します。



一般に電子メールでは、以下のように、相手の文章を引用しながら返事を書いていきます。

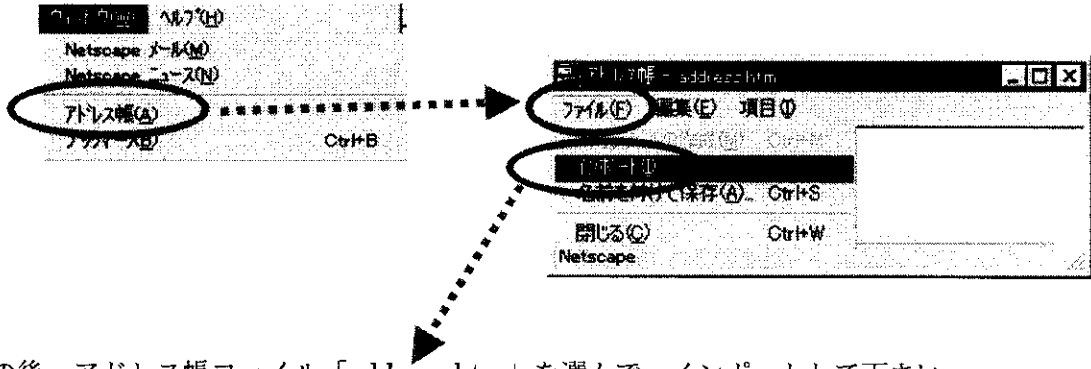


3. 2. 5. アドレス帳の利用

※ アドレス帳を利用すると、相手のメールアドレスを毎回入れる必要がなくなります。

▼ 他のアドレス帳ファイルをインポートする

メール画面で『ウインドウ』メニューの『アドレス帳(A)』を選んで、以下のように進んで下さい。

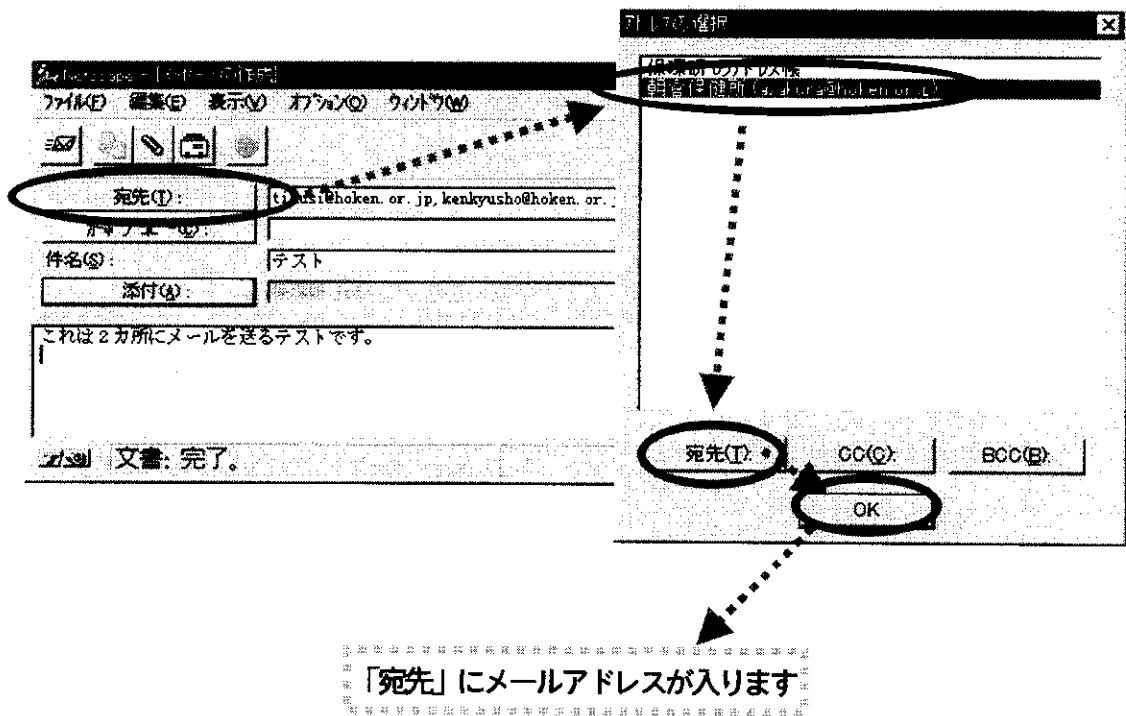


その後、アドレス帳ファイル「address.htm」を選んで、インポートして下さい。

▼ アドレス帳を使って宛先を指定する

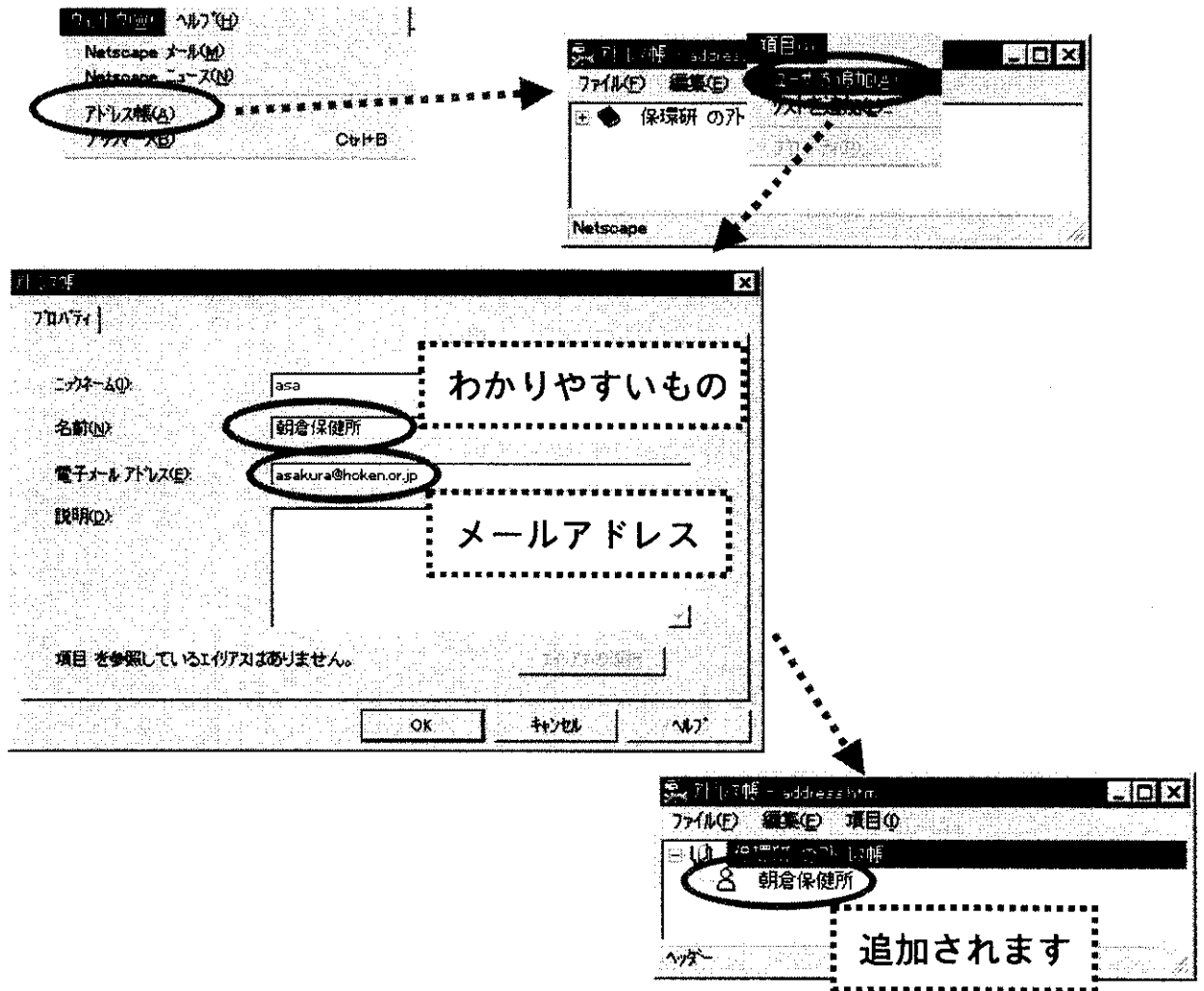
メールを出すときに「宛先(T)」ボタンを押すと、「アドレスの選択」ウインドウが出ますので、送りたい人を選んで、「宛先(T)」ボタンを押して下さい。(送りたい場所の数だけ選択して、押します)

選び終わって、「OK」を選ぶとメールアドレスが入力されています。



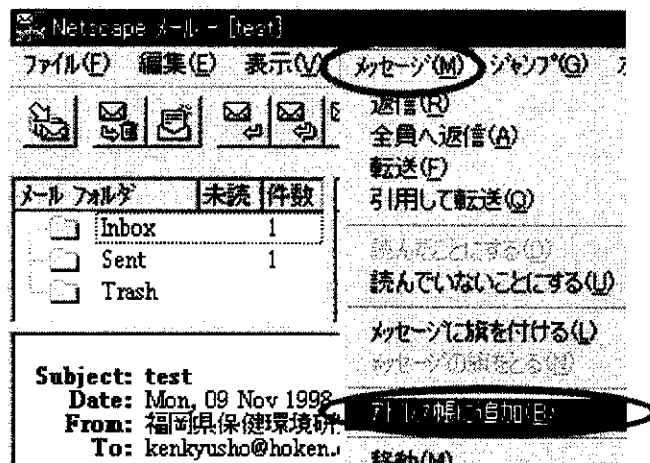
▼ 新規に追加する

『ウインドウ』メニューの『アドレス帳』を選んで、以下のように進んで下さい。



▼ 受信メールで追加する場合

メールを読んでいる状態で、『メッセージ』メニューの『アドレス帳に追加』を選びます。



4. コンピュータネットワークの基礎知識

— LANやインターネットについての基礎知識を学びましょう

4. 1. LANとは

LANとWAN

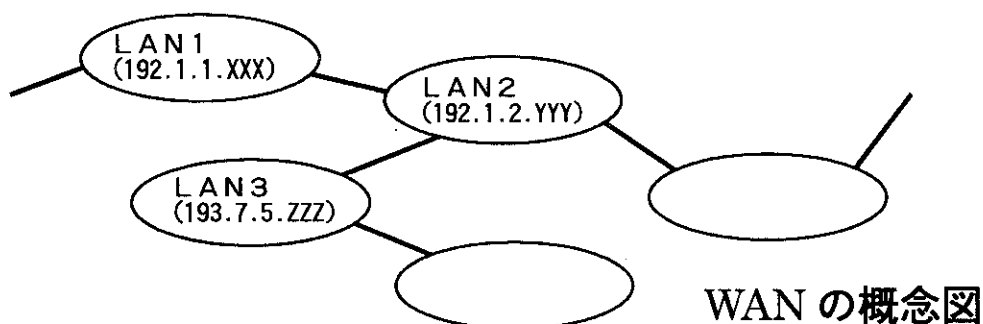
LAN (Local Area Network) は、同一フロア、同一のビルなどにあるコンピュータ同士を接続した小規模なネットワークのことです。LANで接続されたコンピュータは、電話回線の 100 倍以上 (10Mbit/s or 100Mbit/s) の速度でデータをやりとりできます。

一方、WAN (Wide Area Network) は、複数のLANが接続された広域的なネットワークのことをいいます。更に、外部との接続状況によって

インターネット (*internet*) =全世界と接続

イントラネット (*intranet*) =会社内のみ接続で、他とは接続しない

に分けられます。ハードウェア、ソフトウェアなどは同じものを使用できます。地域保健情報システムは、外部とは接続していませんので、イントラネットになります。



LANでできること

LANでは、サービスを提供する側 (サーバ, *server*) と利用者側 (クライアント, *client*) に処理を分散させたシステム形態がとられています。これを クライアント・サーバシステム と言います。例えば、ホームページをみる場合、ページの内容はサーバからデータとして提供されますが、その表示はクライアント側で処理されます。

クライアントはサーバから、以下のようなサービスを受けることができます。

- ・ ファイルの共有
- ・ プリンタの共有
- ・ FAX, モデムの共有
- ・ 電子メール
- ・ 電子掲示板
- ・ グループウェア (Star Office や Lotus Notes など)
- ・ 地域保健情報システム (WWWサーバ)

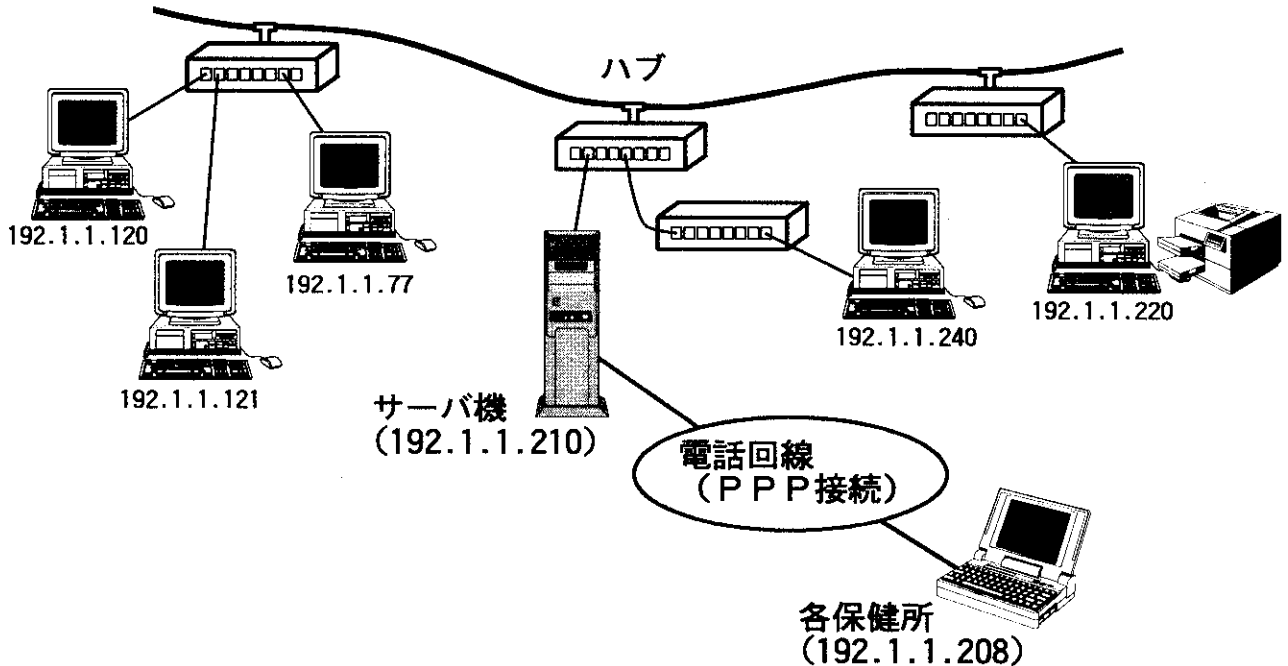
※WWW(World Wide Web)：ホームページ等を提供

私たちの利用する地域保健情報システムでは、WWWサーバとして「Lotus Notes DOMINO」を、電子メールサーバ (SMTP, POPサーバ) として「Post Office」を使用しています。また、クライアント側では「NETSCAPE」を使って、地域保健コミュニケーションシステムや電子メールを利用します。

4. 2. LANの構成例

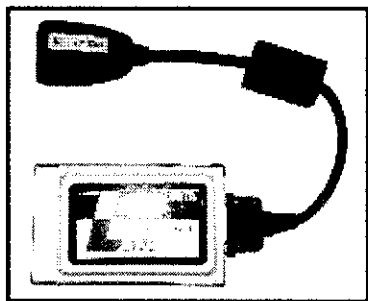
LANの構成例を示します。各パソコンにはLANボードが差されており、ハブ (Hub) に接続されています。更にハブ同士が接続されて、LANを構成します。

サーバ機にはモデム (modem)…電話回線を使ってデータ通信を行うための機器が接続されていて、各保健所は電話回線を通じて、LANに接続することができます。これは、PPP (point to point protocol) 接続と呼ばれる接続法で、個人がインターネットプロバイダに接続するときも、この接続法を使います。

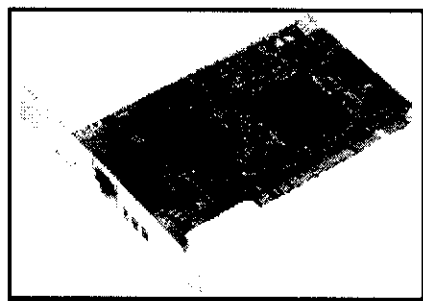


○ LAN ボード

パソコンをLANに接続するためのボードです。ノートパソコンではPCカードで提供されています。使用するケーブルやコネクタにあったものを選ぶ必要があります。一般的には10BASE-T用が使われますが、10BASE-2や10BASE-5用もあります(10BASE-Tの「10」はデータ通信速度10Mbit/s、「T」の部分はケーブルやコネクタ形状を指します)。最近では、通信速度の速い100BASE-T用も使われています。



ノートパソコン用のLANカード



デスクトップパソコン用LANボード

○ ハブ (Hub)

LANの幹線と接続して、LANの差込口(ポート)を増やします。幹線がない場合でも、ハブに接続したパソコン同士はネットワーク接続されます。また、Hub同士をつないで、LANを広げることができます。

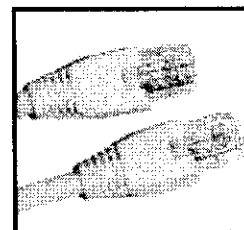
LANボードと同じように、10BASE-T用が主流ですが、100BASE-T用もあります。ポートの数は、8ポートのものが多いようです。(Hub同士をつなぐこともできます)

○ 10BASE-T (テン・ベース・ティ) ケーブル

コネクタは電話のモジュージャックのようなもので、扱いが簡単、最もよく使われるケーブルです。ツイストペア・カテゴリ-5ケーブルと呼ばれ、100BASE-Tでも使われます。

10BASE-T ケーブルの種類としては、ストレートケーブルと配線を反転しているクロスケーブルがあります。パソコンと Hub を接続するのなら、ストレートケーブルを使います (通常はこのケーブルが店に置いています)。一方、クロスケーブルはパソコン同士を直接つなぐときや Hub 同士をつなぐときに使用します (Hub 同士の場合は Hub の仕様で異なる場合があります)。

その他のケーブルには同軸の 10BASE-2 や 10BASE-5 ケーブルがあります。



○ OS (Operating System)

LAN 上でデータのやりとりをするには、ネットワークに対応した OS が必要です。Windows 95, Windows 98, Windows NT では、標準で対応しています。

実際に使用するには、LAN カードやネットワークのインストール (プロトコルなど) が必要です。

4. 3. TCP/IPとドメイン名

LANなどのネットワークでデータをやりとりするには定められた通信手段(プロトコル)に従う必要があります。その最も一般的なものが「*TCP/IP(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)*」です。

IPアドレス

TCP/IPでは各マシンに IP アドレスと呼ばれる番号が重ならないように割り当てられます。この番号は32bitからなっていて、8bitずつの数字をピリオドで区切って、

192.1.1.210

のように記述します。そして、同一のLAN内では

192.1.1.ZZZ

のように番号の頭を同じにします。

IPアドレスには5種類のクラスがありますが、クラスCでは「w.x.y.z」のIPアドレスで、w=192~223、x,y,z=1~254の数字が設定できます。

ドメイン名

IPアドレスの「192.1.1.210」のような数字だけの表現は人間には扱いづらいものです。アドレスをわかりやすい表現にしたものが、ドメイン (Domain) 名です。例えば、NTTのホームページを見るときは

<http://www.ntt.co.jp>

のように入力します。この「www.ntt.co.jp」がドメイン名です。ドメイン名は右側がより大きなグループとなります。ここで、「jp」は日本、「co」は企業を意味します。

DNSサーバ

インターネットでは、ドメイン名をIPアドレスに変換するサーバとして、*DNS (Domain Name Service)*サーバが用いられています。全世界にあるDNSサーバは互いに接続されていて、すべての登録されているドメイン名をIPアドレスに変換できます。

インターネットプロバイダへ接続する場合は、必ずDNSサーバのアドレス設定をしなければいけません。地域保健情報システムではDNSサーバの設定をしないので、ホームページは「<http://192.1.1.210>」のようにIPアドレスを入力します。

データ通信の流れ

データはTCP/IPに従い、分割して送信されます。それぞれの固まりには、送信先アドレスや送信先アプリケーションの情報などが含まれています。受信側では送られたデータを復元して使用します。分割することにより、1つの回線を1台で占有することはなく、複数台の通信が同時に行えます。

